

工場見学に来ていただきました！

—高松市立鬼無小学校 第4学年の皆様—

発行 No.14057

2019年11月20日



10月4日（金）、鬼無小学校 第4学年 51名を対象に工場見学を行いました。
同校は5年前から始まった出前授業に加え、3年前から工場見学にも参加して頂いています。

（※出前授業の様子は前号（No.14056）をご覧ください。）

見学では、人の手でペットボトルを分ける様子や、
特殊な磁石を使ってアルミ缶とスチール缶を分けていく様子などを見ていただきました。

また、「ビンを色ごとに分けるのはなぜだと思いますか？」という
質問には、「他の色が混ざるとリサイクルできないから」
とすぐに正解を答えてくださり、その知識の深さに感心しました。



透明なビンと茶色のビン色ごとに分けられた後、再びビンに、青色や緑色など色のついた
ビンは細かく粉碎された後、道路舗装用の原料や防犯用の軽石等として生まれ変わります。

熱心にメモをとりながら話を聞いてくださったり、問いかけに積極的に
応じてくださったり、とても有意義な見学になったのではないかと思います。



見学中、「くさい！」という声があちこちから聞こえてきましたが、
そのニオイの原因はいったい何なのでしょう？

それは、ペットボトルなどの飲料用容器に入ったままの飲み残しや廃プラスチックに
付着したままの食べ残しが腐敗し、強烈なニオイを放っているのだと考えられます。
それに、汚れたままの状態では作業に余計な手間がかかったり、リサイクル品の品質低下を
招いたりするため、資源として生まれ変われずゴミとして処分されてしまうことがあります。

リサイクルに出す際は、

- ☑ 飲み残し・食べ残しが無い状態にしましょう。
- ☑ 水ですすぐ等して汚れを取り除きましょう。
- ☑ 分別した状態で決められた収集日に出しましょう。



資源には限りがあります。

汚れたまま・きちんと分別しないままリサイクルに出し続けると、
ある日突然 資源が底をつき、私たちの生活が一気に不便になるかもしれません。
便利さを享受し続けるためには、日頃からのひと手間が必要不可欠です。
限りある資源を未来に繋いでいくためにも、皆様のご協力をよろしくお願いします。

